

令和2年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	18	議席 番号	20	氏名	村 瀬 旬 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	企業版ふるさと納税を積極的に推進することについて			<p>平成25年11月定例会の私の一般質問において、ふるさと納税者に近隣他市にならって、それぞれの町の特色ある物産を返礼品として用意し行うべきであるとの質問に対して、寄附金は一般会計に入れているとか、返礼品については研究していくといった答弁があり、近隣他市と比べて乗り遅れている感じがしたが、全国的な流れから現在は富士宮市もご承知のとおりである。そこで、企業版ふるさと納税はいち早く積極的に行うべきと考え、以下、質問をする。</p> <p>(1) 企業版ふるさと納税活用事例集に、富士宮市のベビーステーションの取組が紹介されていたが、その経緯をお教え願います。</p> <p>(2) 専任担当ではないにせよ、企業をリストアップし目標額を決め、前向きに行う考えはあるか、市長の考えをお聞かせ願います。</p>		市長 副市長 関係部長
2	須藤市長の教育勅語観に同感の立場から			<p>平成28年3月号発行「広報ふじのみや」の別冊である創宮に記載されている教育勅語は、現在の日本にとっても大切な言葉であり、全世界にも通じる場所である。</p> <p>また、教育勅語は、衆参両議院で排除及び失効確認の決議がされたが、戦争に負け、まだ講和条約も結ばれていない時期であり、何でも戦勝国の言いなりの時代であり、衆参両議院が日本人の心として行った決議ではないことは明白である。そこで、以下、質問をする。</p> <p>(1) この本会議場でもう一度説明していただければ皆様も納得するはずであり、市長のお考えをお聞かせ願います。</p> <p>(2) 教育現場においても大変重要なことであり、子ども達にどのような教育を目指しているか、お聞かせ願います。</p>		市長 教育長 関係部長